

通告順	議席番号	通告者
1	17	鈴木邦昭

1 介護する子供「ヤングケアラー」について

- (1) 「ヤングケアラー」とは大人が担うような家族の介護や世話を日常的に行っている 18 歳未満の子供を指すとしている。厚生労働省は具体的な支援策を検討するため、本年 12 月にも教育現場を対象とした初の全国的な実態調査を始めると報道されたが本町では「ヤングケアラー」の概念を認識していたか。
- (2) 厚生労働省は、県や市区町村の教育委員会を通じて、ヤングケアラーの把握や支援状況など、出来る限り網羅に調べるという事である。本町では調査されたのか。
- (3) このような子供の状況を把握し支援につなげる仕組みが必要と考えるが、現在本町の取り組みと支援内容は。

2 防災倉庫及び備蓄品の管理について

約 3 億 6 千万円で建設される防災備蓄倉庫が、令和 3 年 1 月完成予定である。備蓄倉庫には様々な物資が入庫される。倉庫管理及び備蓄品の在庫管理について 3 点伺う。

- (1) 防災備蓄品倉庫の管理、在庫管理についてどのように行う考えか。
- (2) ガソリン使用の発電機 47 台とガソリン携行缶 47 缶購入と説明を受けているが、特に、47 缶の携行缶の管理方法は。
- (3) 倉庫は、大きな建物のわりに人がいないと言う特色がある。防災備蓄倉庫の火災予防対策は。

通告順	議席番号	通告者
2	6	大槻和弘

1 本町の医療行政について

本町の 65 歳以上の高齢者は、30.5% (H30 年 3 月現在) となっており、ひとり暮らしの方は 13.7% である。全国的にも、2025 年には、4 人に一人が 75

歳以上の高齢者となるが、本町の医療行政について町長の見解を伺う。

- (1) 医師不足や医院（診療所）数の減少が懸念されるが、対応策を考えているのか。
- (2) 本町に、耳鼻咽喉科等はないが、個人医院の開設などに向けての環境整備を考えてはどうか。
- (3) 近隣市町への通院対策として、町民バス、デマンドタクシーの活用を考えてみてはどうか。また、通院対策として、高齢者を対象にした町独自のサポカー補助金を検討してはどうか。
- (4) 県は、県立がんセンター、東北労災病院、仙台赤十字病院の3病院の連携・統合を考えているが町長の見解はどうか。

2 町道神宮寺線の改修工事について

国道6号線と袖ヶ沢住宅入口交差点の改修工事について、国に要望しているがその後国交省の対応はどうなっているのか。また、豪雨時に災害の危険性のある鍋倉川に隣接する、国道の西側の町道神宮寺線の改修工事の計画を示すべきとの声があるが対応すべきではないか。

通告順	議席番号	通告者
3	10	木村 満

1 効率的な財政運営について

人口減少による税収減や公共施設の修繕・建て替えの必要性などを考慮すると、より、効率的な財政運営が求められるとともに新たな資金調達手段の検討が必要であると考え。そこで、以下、2問質問する。

- (1) 予算編成など財政運営に関わる事項について統一的基準に基づく公会計を中心とした財政運営を行っては。
- (2) 中長期間使用しない基金の一部を債券運用しては。

2 交流人口の増加策について

本町における人口減少に伴う経済活動の維持または拡大の為には交流人口増加に伴う消費額の増加を図らなければならない。そのためには沿岸部とし

ての魅力と雰囲気づくりが重要と考える。そこで以下、2点質問する。

- (1) 多目的広場に遊具自体が集客力のあるユニークな遊具を設置し、長時間滞在してもらえ環境を整備しては。
- (2) 多目的広場北側を火器取り扱ができるようにしバーベキューエリアの公設民営をめざしては。

3 交流人口からの子育て世代の定住化について

復興期間の終期が目前とされている中で人口ビジョンの達成が困難となっている。「交流人口から定住化へ」を掲げている本町として、定住化を後押しすべきと考え2点質問する。

- (1) 交流人口から定住化へつなげるため住んでみたいと思うには、その環境づくりが必要と考える。その為沿岸部地域の基礎やブロック塀などの撤去を推進しては。
- (2) 町外の子育て世代が本町に土地を購入し家を建てる際、援助しては。

通告順	議席番号	通告者
4	2	鈴木邦彦

1 新型コロナウイルス感染症関連の各種支援制度の検証について

新型コロナウイルス感染症の第3波に対応するため、効果的・効率的な対策を講じるために、これまで実施してきた各種支援制度を検証していく必要があるため、以下の項目について伺う。

- (1) 国の支援策、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した以下の実績と課題（評価）について。
 - ① 亘理町飲食店テイクアウト等支援事業
 - ② 亘理町新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援給付金
 - ③ 亘理町新型コロナウイルス感染症対策事業地域雇用維持支援金
 - ④ わたりエール商品券
 - ⑤ ひとり親世帯臨時特別給付金
 - ⑥ 学びの応援給付金
- (2) 町独自の支援策による事業の実績と課題（評価）について。

① 巨理町特別奨学金貸付事業

- (3) 国民健康保険税・町税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の免除・減免・猶予を受けた実績（人数・金額）について

2 ICT 教育に関する課題について

コロナ禍において、オンライン授業がクローズアップされる中、ICT 教育の地域格差が生じている。本町においても、タブレット端末が導入され環境が整いつつあるが、以下の課題について伺う。

- (1) ICT 教育における教員研修の実態について。
- (2) 黒板の文字を書き写せないなど、読み書きや計算といった特定の分野に困難がある学習障がい（LD）を持つ児童生徒の支援体制について。